

登録コード	L2990500	開講年度	2026				
担当教員	福島 正樹			副担当			
授業科目	博物館資料保存論						
英文授業名	Preservation Museum Collection Theory						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限
講義室	理学部第1講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門の学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	さまざまな博物館資料のモノとしての特性を理解し、それぞれの保存方法を理解する。		
	【2023年度以降カリキュラム対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	博物館資料の保存に関する社会動向を注視し、保存に関する情報を常に更新できるようにする。		
	【2023年度以降カリキュラム対象】専門の学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			⇔	博物館資料の保存問題が、地球環境の持続可能性の問題と深く関係していることを理解する。		
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	注：履修登録をする際は、Lのコードで登録してください。 ※この授業は、他学部授業ではありません。 博物館資料を保存する意義や資料がもつ学術・文化的役割、博物館が果たす学術的役割や、地域資源や文化財の保全や活用等について果たす役割等について、人文科学分野を中心に、具体的な手法や事例を示しながら解説する。 担当教員が学芸員の実務経験を活かして講義を行います。						
授業計画	1 博物館資料保存論の総論 この講義でふれる内容全体について、最初に包括的に論ずる 2 博物館資料保存の基礎 資料を保存するとはどういうことか 3 博物館資料保存の歴史（1） 古代から江戸時代まで 4 博物館資料保存の歴史（2） 明治から現在まで 5 博物館資料の被災防止と対策 阪神淡路大震災、東日本大震災などの経験と資料の保全 6 博物館資料の収蔵と保管 資料の収蔵と保管は、資料の生命線 7 伝統的保存方法（正倉院宝物の保存システム） 試され済みの保存方法に学ぶ 8 曝涼と装こう 虫干しや表装の役割 9 保存修理と技術、材料の開発資料を後世に伝えるために 10 生物被害（カビ、虫害）と燻蒸 11 温湿度環境 12 光・照明・空気 13 輸送と梱包 14 IPM（展示室、収蔵庫等の環境） 15 危機管理、授業アンケート ※講義の一環として、博物館現場における研修を予定し、土日のいずれかの日（日程は別途指定）をそれに充てる予定である。交通費の自己負担が発生することを了承願いたい。						
成績評価の方法	通常授業の出席と小テスト、レポート等により評価を行う。						
成績評価の基準	レポートを課し、通常講義への出席や小テストの結果も考慮して評価する。レポートについては、次の5つの基準に基づき評価する。(1) 問題の設定が適切であり、(2) その問題の背景を説明できており、(3) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(4) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(5) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 (1) から(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。評価は100点満点のうち、レポート・小テストで50点、出欠で50点。						

事前事後学習の内容	大学における講義は、受講者の事前事後の学習を前提として行われる。教科書として指示された文献、講義の中で指示された参考文献について、事前事後学習として参照すること。
履修上の注意	初回授業の冒頭で詳しくガイダンスする。
質問、相談への対応	講義終了後に直接質問してください。学務へのメモも可（次の講義で回答します）また、メールでの質問も可。アドレスは、fukusima@shinshu-u.ac.jp
教科書	基本的に講義の中で紹介する（プリント配布など）
参考書	・水藤真『博物館学を学ぶー入門からプロフェッショナルへ』（山川出版社 2007年） ・石崎武志『博物館資料保存論 第2版』（講談社 2024年） ・真家和生ほか編著『大学生のための博物館学芸員入門』（技報堂出版 2014年） ・君塚仁彦・名見耶明『現代に生きる博物館』（有斐閣ブックス 2012年） ・松浦啓一編著『標本学 -自然史標本の収集と管理-』（東海大学出版会 2014年）